

【学校教育目標】
 小学校：『元気・探究・向上』 ～学びに向かう力を持った大月っ子の育成～
 中学校：人を大切に ～聴く・全力・感謝～



【9年間で目指す子供の姿】
大月が好きで、その魅力を発信でき、ふるさとや自分に誇りを持った生徒

【生活科・総合的な学習の時間の目標】
 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成する。

- 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や良さ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- 身近な人々、社会及び支援に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- 大月町の人、もの、ことに関わる探究的な学習過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- 大月町の人、もの、ことの中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 大月町の人、もの、ことについて探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【児童・生徒の実態】
 ・明るく素直な児童が多い。
 ・生活、学習ともにまじめに取り組む児童が多い。
 ・主体的に考え行動する面で弱さがある。
 ・生活・総合の学習には興味を持って取り組む。
 ・地域に関する関心はそれ程高くない。

【地域の実態】
 ・広い校区の中に中心になる町区があり、その周辺に小規模な地域が点在している。
 ・バスでの通学児童・生徒が多い。
 ・第一次産業が主体であるが、衰退傾向である。
 ・保護者や地域の方は学校教育に対して協力的である。

【保護者・地域の願い】
 ・確かな学力を定着させたい。
 ・たくましく生きる力や優しい心を育てたい。
 ・健やかな身体を育てたい。
 ・安全、安心な学校生活を送らせたい。
 ・地域のことを知り、産業や文化などの継承者として成長してほしい。

【外部人材の活用】
 ・学校運営協議会
 ・地域支援コーディネーター
 ・地域学校協働本部



ステージ	I 期	II 期	III 期	IV 期
学年	小1・2	小3～5	小6・中1	中2・3
教科	生活	総合	総合	総合
テーマ	身近な人・ものに触れる	大月のよさを知る	大月の人との関わり	大月と自分のこれからを考える
探究課題	学校、家庭、地域の生活や人々、自然との関わり	大月の自然 大月の産業 大月の魅力	大月のよさを守る 大月の今を知る	大月町の海の力 大月と自分の豊かな未来
具体的な資質・能力	知識及び技能	・活動や体験を通して、自分自身や身近な人々、学校や地域及び自然の特徴やよさに気付く。(知識) ・活動や体験を通して、生活の中で必要な習慣や技能を身に付ける。(技能)	・大月町を見つめ直し、地域のよさや、それを支える人たちの工夫と努力や思いを理解する。(知識) ・情報を比較・分類・関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能) ・大月町のよさを理解し、大切にしていこうとする思いは、大月町のよさや人々の思い、願いについて探究的に学習してきたことによる成果であることに気付く。(探究的な学習のよさの理解)	・大月のよさや伝統文化に関わっている人を知り、地域に関わっている人たちの取組や思い、願いを理解する。(知識) ・情報を比較・分類・関連付けて多面的に考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。(技能) ・自分と大月町との関わりを理解し、進んで関わっていこうとする思いは、大月町に関わっている人々の取組や思い、願いについて探究的に学習してきたことによる成果であることに気付く。(探究的な学習のよさの理解)
	思考力・判断力・表現力	・活動や体験を通して、身近な人々、学校や地域及び自然について自分との関わりで捉える。(捉える) ・活動や体験を通して、自分自身や自分の生活について考える。(考える) ・活動や体験を通して、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、他者と伝え合ったり振り返ったりする。(表現する)	・地域の自然、産業、食などの魅力について学び、関心のある課題を設定し、解決方法や手順を考えて計画を立てる。(課題の設定) ・目的に応じて手段を選択し、課題解決に必要な情報を収集している。(情報の収集) ・集めた情報を比較・分類・関連付けて、課題解決に向けて整理している。(整理・分析) ・他教科で身に付けた力を生かし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。(まとめ・表現)	・地域の人との関わりを深める中で探究したい課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てている。(課題の設定) ・目的に応じて多様な方法から適切な手段を選択し、課題解決に必要な情報を収集している。(情報の収集) ・集めた情報を比較・分類・関連付けて整理し、課題解決に向けて多面的に特徴を整理している。(整理・分析) ・他教科で身に付けた力を生かし、相手や目的に応じてまとめ方や伝え方を工夫しながら表現している。(まとめ・表現)
	学びに向かう力・人間性等	・積極的に身近な人々、学校や地域及び自然に触れ、親しみをもって働きかける。 ・自分の思いや願いを持ち、学校や家庭、地域において意欲や自信をもって学んだり生活を工夫したりする。	・課題解決に向けて、目標に向かって課題に取り組み、自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとする。(主体性・協働性) ・探究的な活動を通して、自分のよさを考え、自分と異なる意見があることに気付く。(自己理解・他者理解) ・探究的な活動を通して、自分と地域の繋がりを意識しながら、自分ができることを考えようとしている。(将来展望・社会参画)	・課題解決に向けて、目的意識をもって課題に取り組み、自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとする。(主体性・協働性) ・探究的な活動を通して、自他の考えやよさを理解し、受け入れようとする。(自己理解・他者理解) ・探究的な活動を通して、自分と地域の繋がりを意識しながら、地域のためにできることを考えようとしている。(将来展望・社会参画)

【学習活動】
 ・児童・生徒、地域の実態を踏まえた探究課題の設定
 ・地域の「人・もの・こと」を生かした学習活動の充実

【指導方法】
 ・児童・生徒が様々な試行錯誤できる体験活動の重視
 ・児童・生徒自身が課題を見つけられるような探究的活動の工夫
 ・言語活動を適切に位置づけた学習活動の工夫
 ・個に応じた支援の工夫

【指導体制】
 ・地域の人材の積極的な活用
 ・関係機関との連携
 ・家庭、地域との連携

【学習評価】
 ・個人内評価を重視する
 ・ポートフォリオや作品などを活用した評価
 ・児童・生徒の自己評価、相互評価

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
・探究的な学習の素地を養う。 ・知識及び技能の習得と活用を確実にする。	・郷土を愛する豊かな心を育成する。 ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める。	・集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いに認め合える集団作りを行う。 ・集団や社会の一員としての自覚と責任を育てる。